

平成27年度 第1回吉井地域審議会における質疑一覧 [平成27年6月5日開催]

1 吉井地域の事業推進状況に係る質疑

事業名	NO	質 疑	回 答
吉井中央公園(仮称)整備事業	1	<p>防災機能を備えた総合公園として、十分な計画が進められていると思うが、当該施設へのメイン進入路として国道254号線からの方法の他、サブ進入路の整備予定について質問する。</p> <p>平時の利用はもとより特に災害発生時等には、町内各方面から容易にアクセス可能とする数箇所の進入路を整備することにより、より安全且つスムーズな運用が可能となると考えられるが如何なものか。</p>	<p>公園へのアクセス道路については、国道254号線から公園への道路と、市街地からの道路について、現在整備を進めている。その他のアクセス道路については、平時における公園の利用状況を見ながら、今後研究していきたい。</p>
吉井中央公園(仮称)整備事業	1	<p>高崎市も高齢化が進み医療費が市の財政に多くのウェイトを占めており、今後益々比重が高まると予想される。昨今の取り組みとして、他の自治体では高齢者がスポーツ(グラウンドゴルフやゲートボール等)を楽しむことにより、健康を保ち医療への出費を軽減できることが実証されている。</p> <p>吉井公園にも高齢者が運動できるスペースを取り、高齢者が楽しく健康に過ごす場所を作るようにしたい。</p>	<p>吉井中央公園は防災公園として整備を進めているが、公園は小さな子供からお年寄りまで幅広い年代の方が利用されることから、平常時にはグラウンドゴルフなど各種スポーツに利用できるよう、多目的広場を整備していく。</p>

2 その他の質疑

事業名	NO	質 疑	回 答
吉井インターチェンジアクセス道路について	1	<p>市の南玄関としての機能を高める吉井インターチェンジへアクセスする矢田・岩崎線の整備を県との連携で推進すると聞いているが、進捗状況を伺いたい。</p>	<p>矢田岩崎線の道路計画線上においては、「郡衙」の遺構は出土していないが、同路線と交差する吉井北通り線(254号バイパス)にかかる地区で「郡衙」の一部と見られる遺跡が出土している。</p> <p>そのため矢田岩崎線と吉井北通り線との調整が必要になるが、矢田岩崎線の事業化については、先行して県と協議を進めていく。</p>

事業名	NO	質 疑	回 答
空き家対策について	1	最近、空き家が問題になっているが、吉井地域の現状と対策はどのようになっているか伺いたい。	<p>吉井地域の空き家の現状は、平成20年度の総務省住宅土地統計調査の推計によると、吉井地域の住宅総数は9,410戸で、約10%の1,000戸が空き家と思われる。</p> <p>26年度では、市内全域で222件の申請があり、そのうち、吉井地域においては、地域サロン改修助成などをはじめ、18件の申請があった。</p> <p>対策として、市では、平成26年度から空き家の解体と利用可能な空き家の活用を同時に進める総合的な対策を進めている。</p> <p>27年度についても、空き家所有者に対し、この助成金を積極的に利用していただき、市内空き家の解消に全力で取り組んでいる。</p>
吉井地域の水道料金について	1	吉井地域が合併して6年が経ち、これまでに様々な制度が統一されてきたが、水道料金体系は未だ合併以前のまなので、高崎市としての一体感を持つためにも早めに統一して欲しい。	平成24年12月議会で平成30年3月31日まで現行の料金体系を維持するという議決をいただいているので、理解いただきたい。
朝夕の交通渋滞の解消について	1	多胡橋(岩崎)信号が富岡方面及び吉井方面からの自動車ですら毎日渋滞している(約2km)。高齢者の横断が危険ですので解消して欲しい。	渋滞の原因となっている岩崎の交差点については、矢田岩崎線の交差点改良計画において、県と協議を進めていく。
吉井地域を活性化する事業について	1	吉井地域は他の地域と比較して新規イベント(榛名山ヒルクライムや榛名梅マラソン等)の開催が少ない。市が積極的に「吉井地域を活性化する事業」に取り組み、予算を計上して実行して欲しい。	吉井地域を代表するイベントとして、よしい祇園まつり、秋祭りの2大イベントを開催しているが、今年が多比良地区の住民が手作りで10年以上にわたり実施してきた「どろんこ祭り」を市が共催し、「吉井どろんこ祭り2015」として開催する。これにより吉井地域の知名度アップとさらに多くの集客を図る。また、上野三碑の世界記憶遺産登録を実現するための取り組みや、多胡碑周辺において郡衙の発掘調査を、規模を拡大して引き続き実施するなど、吉井地域の貴重な歴史文化を県内外へ広くPRしていく。